



2025年2月25日

各位

会社名 株式会社 エプロ
 代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之
 (コード番号 2311 東証スタンダード市場)
 問合せ先 代表取締役 CFO 吉原 信一郎
 (TEL. 03-6853-9165)

2025年1月度 月次業績に関するお知らせ

当社は、2025年1月度の月次業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。
 なお、業績数値は速報値であるため、以後修正される場合があります。

記

■ 2025年1月度の月次業績（経常利益）

(単位：百万円)

	1 月 度			期 初 来 累 計		
	前 期	今 期	前 年 比	前 期	今 期	前 年 比
連結経常利益	12	-20	-	12	-20	-

(参考) セグメント別経常利益

成長事業	再エネサービス		6	-15	-	6	-15	-
	日本市場	TEPCO ホームテック	19	-0	-	19	-0	-
		ENE' s	7	8	108%	7	8	108%
		MEDX	-2	-1	-	-2	-1	-
	海外市場	LESSO EPCO	-17	-22	-	-17	-22	-
ベース事業 (住宅BPO)	メンテナンスサービス		23	13	57%	23	13	57%
	設計サービス		19	13	69%	19	13	69%

(注1) 本資料の数値については監査法人の監査を受けておりません。

(注2) LESSO EPCOには、班皓艾博科新能源設計(深圳)有限公司及び広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司の業績数値が含まれております。

(注3) 連結経常利益数値には、セグメント別経常利益のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外損益(持分法投資損益を除く)が含まれております。

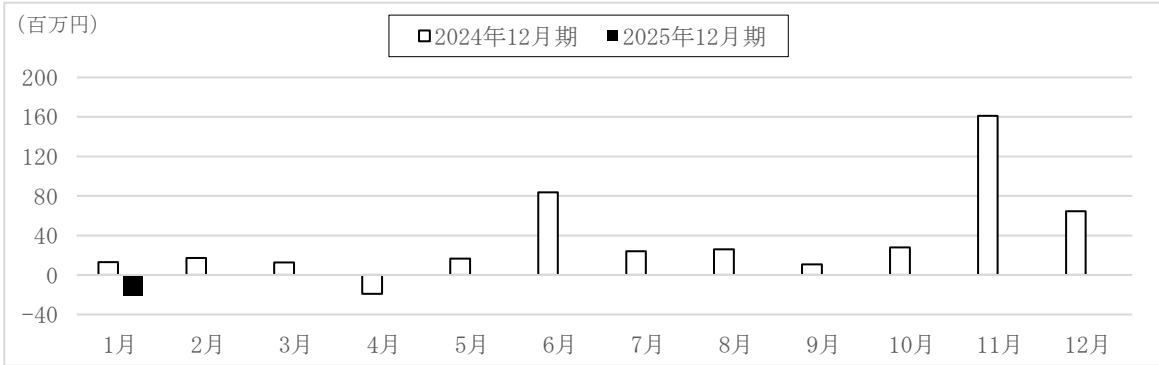
以上

■ (参考情報) 各事業の業績推移

【連結経常利益】

(単位：百万円)

	2025年12月期 (2025年1月1日～2025年12月31日)													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
経常利益	-20													-20
前年同月比	-													-



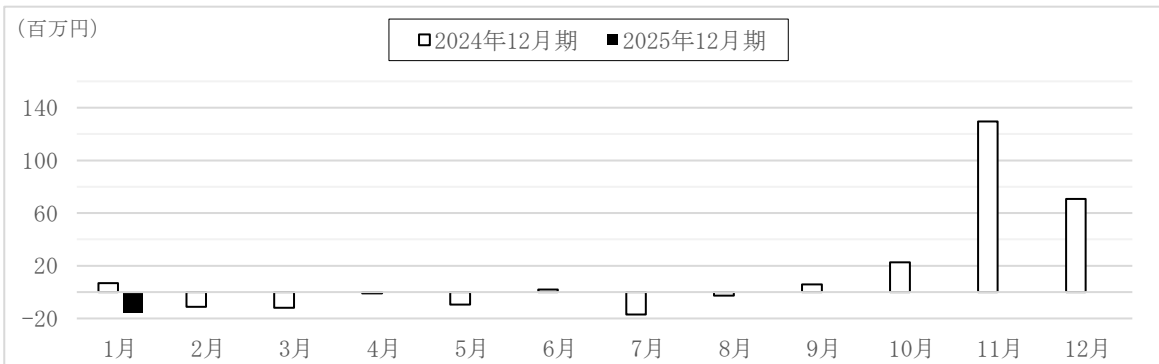
当月の連結経常利益は、-20百万円（前年同月12百万円）となりました。再エネサービス、メンテナンスサービス及び設計サービスがいずれも減益となったことで、当月の連結経常利益は前年同月比で減益となりました。

なお、当月の連結経常利益は、前年同月比では大きく減少しておりますが、連結経常利益の当月計画値は-27百万円を見込んでおり、計画比では上振れして推移しております。

【再エネサービス】

(単位：百万円)

	2025年12月期 (2025年1月1日～2025年12月31日)													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
経常利益	-15													-15
前年同月比	-													-



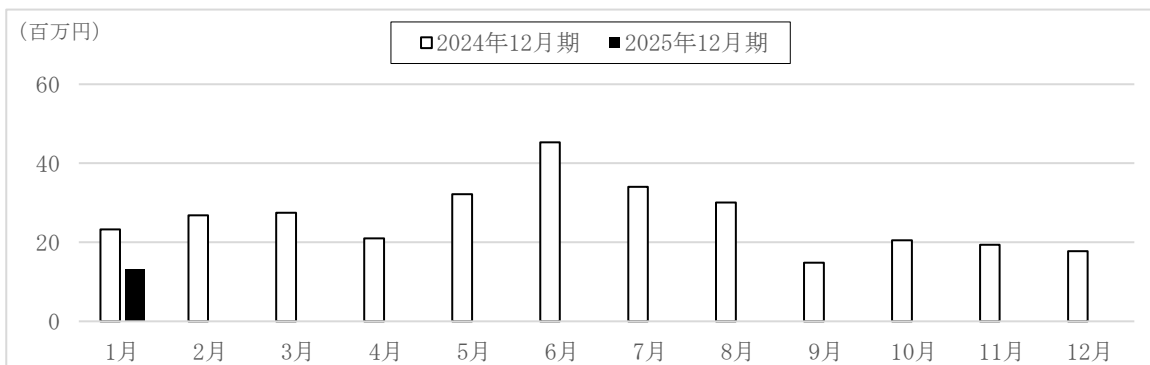
当月の再エネサービス経常利益は、-15百万円（前年同月6百万円）となりました。当月の減益は、TEPCOホームテックにおける減益が主たる要因です。TEPCOホームテックに関する詳細については、P.4の記載内容をご参照下さい。

また、中国市場におけるLESSO社との合弁会社に関する持分法投資損益も減益となりました。LESSO社に対する売上の計上時期が期末に集中する契約であるため、当月は赤字となりましたが、通期では黒字転換する見通しです。

【メンテナンスサービス】

(単位：百万円)

	2025年12月期 (2025年1月1日～2025年12月31日)												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
経常利益	13													13
前年同月比	57%													57%

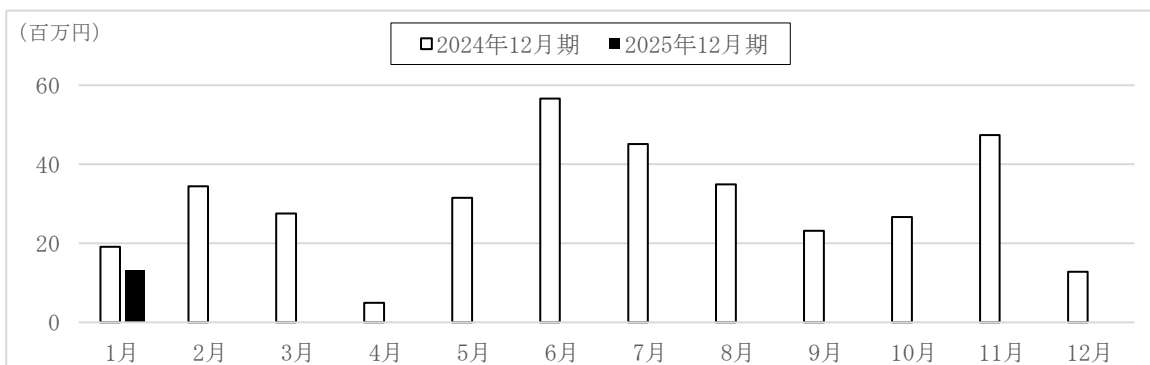


当月のメンテナンスサービス経常利益は、13百万円（前年同月比57%）となりました。減益の主たる要因は、エネルギー企業向けに一時的に受託していた業務の終了に伴う売上減少によるものです。当該影響により一時的に減益となりますが、住宅会社向け及びエネルギー企業向けメンテナンス業務のいずれも新規受託案件の利益貢献が始まりつつあることから、下半期にかけて受託拡大による利益回復に向かう見通しです。

【設計サービス】

(単位：百万円)

	2025年12月期 (2025年1月1日～2025年12月31日)												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
経常利益	13													13
前年同月比	69%													69%



当月の設計サービス経常利益は、13百万円（前年同月比69%）となりました。減益の主たる要因は、既存の一部得意先からの受託減少に伴う設計売上高の減少であります。一方で、住宅（持家）市場における住宅着工は昨年10月から下げ止まっており、当月の設計サービス売上・利益は期初計画比では超過しております。

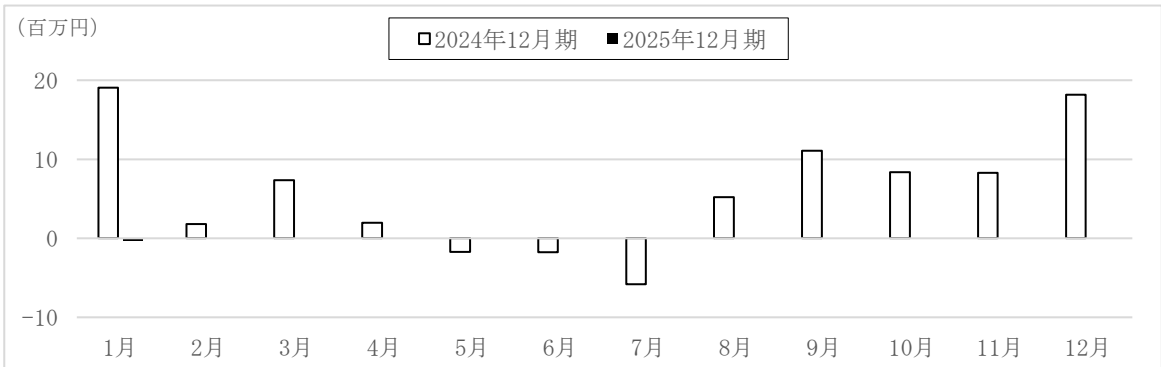
今後は、エネルギー関連設計業務の新規受託による売上拡大及びデジタル技術を活用した業務フローの変革による労働生産性（利益率）向上により、利益回復に向かう見通しです。

■ (参考情報) 主な関連会社の業績推移

【TEPCO ホームテック】(東京電力エナジーパートナー株式会社との合弁会社)

(持分法投資損益、単位：百万円)

	2025年12月期 (2025年1月1日～2025年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
持分法損益	-0												-0
前年同月比	-												-



当月の TEPCO ホームテックに関する経常利益 (持分法投資損益) は、-0 百万円 (前年同月 19 百万円) となりました。

当月の TEPCO ホームテック売上高は 705 百万円 (前年同月比 92%) である中、さらなる受託拡大を見据えた人員の増員による人件費の増加及び一時的な広告宣伝費の発生により、前年同月比で販管費が増加していることで減益となりました。

今後は、本投資の効果が発現され、住宅事業者向けエネカリサービス (初期費用ゼロ円で再エネ設備をご利用頂くモデル) に関する工事受託が拡大することにより、売上及び利益が拡大する見通しです。

以上